金魚・メダカ・カメ等の飼育に関するアンケート 調査結果

2016年8月10日



スクリーニング概要

◇調査件名 金魚・メダカ・カメ等の<u>飼育</u>に関するアンケート

◇調査目的 本調査(金魚・メダカ・カメ等の<u>エサ</u>に関するアンケート)のための観賞魚等の飼育者の把握

飼育期間の把握

◇調査方法 インターネット調査

◇調査地域 全国(国内)

◇調査対象 一般消費者

◇配布数 67,633件

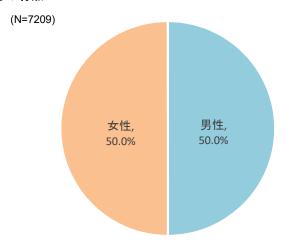
◇回収数 7,209件

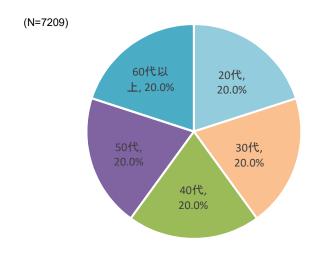
◇調査期間 2016年2月26日(金)~2016年2月27日(土)

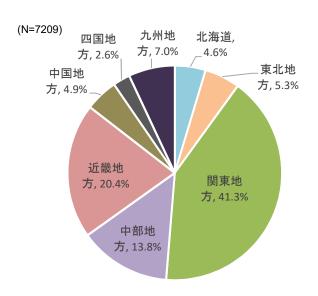
1. スクリーニング回答者の属性

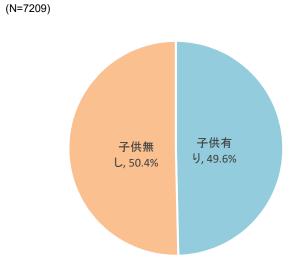
- ・性年代別に均等になるように回収した。
- ・エリア及び、子どもの有無については考慮せずに回収し、次のような結果となった。

性別、年齢、エリア、子どもの有無









2-1. 飼育率について

- ・「金魚・メダカ・カメ等の飼育に関するアンケート」という調査名でアンケートを依頼したため、飼育率は実際よりも高い数値を示している可能性が高い。
- ・全体で見ると、飼育率の高い順に「金魚」「メダカ・川魚」「熱帯魚」「カメ」「鯉」。最も飼育率の高い「金魚」で約7%。
- ・性年代別でみると、女性よりも男性の方が飼育率が2ポイント高い。年代による飼育率に大きな差はない。
- ・「金魚」に関しては若年層ほど飼育率が高いと言える。

Q4. 現在自宅で飼育している観賞魚等があれば、選択してください。

(%)

			性	別		年代			
全体(N=7209) _{0.}	(%) 0 20.0 40.0 60.0 80.0 100.0	全体 (7209)	男性 (3606)	女性 (3603)	20代 (1444)	30代 (1440)	40代 (1442)	50代 (1442)	60代以上 (1441)
金魚	7.3	7.3	8.0	6.6	9.1	8.4	7.1	5.4	6.5
メダカ・川魚	4.7	4.7	4.8	4.6	4.7	5.3	4.2	4.0	5.2
熱帯魚	3.2	3.2	3.9	2.6	3.7	3.4	2.9	3.6	2.5
カメ	2.7	2.7	2.9	2.4	3.9	2.4	2.3	3.0	1.8
鯉	1.0	1.0	1.3	0.7	2.0	1.2	0.3	0.4	1.0
ザリガニ・エビ等の甲殻類	0.8	0.8	0.9	0.7	0.9	1.0	0.8	0.7	0.6
イモリ・カエル・ウーパー ルーパー等の両生類	0.5	0.5	0.6	0.3	0.8	0.3	0.6	0.5	0.2
いずれかを飼育している	14.2	14.2	15.2	13.1	15.3	15.0	13.8	12.7	14.0
いずれも飼育していない	85.8	85.8	84.8	86.9	84.7	85.0	86.2	87.3	86.0

()内は回答者数

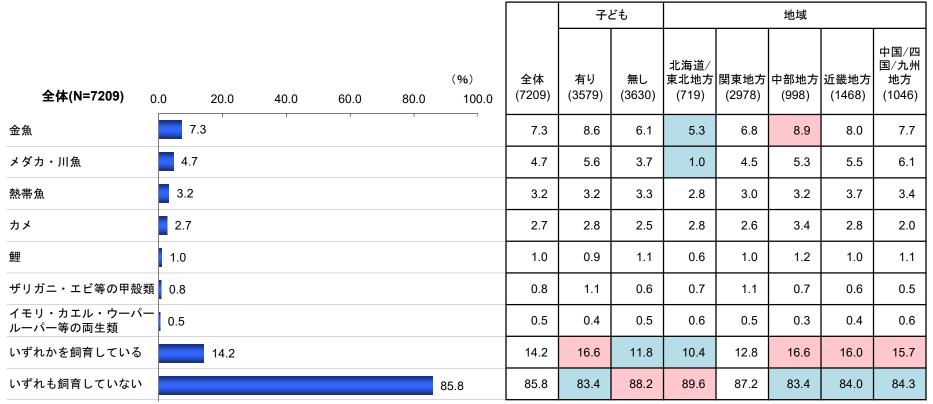
:全体より1.5ポイント以上高い値 :全体より1.5ポイント以上低い値

2-2. 飼育率について

- ・子ども有りは子ども無しに比べて、「いずれかを飼育している」が約5ポイント高い。大きくはないが金魚、メダカ・川魚は子どもの有無により飼育率に差がある。
- ・地域で見ると、北海道、東北は飼育率が低い。特に「メダカ・川魚」の飼育率は低い。
- ・地域で見ると、中部、中国/四国/九州、近畿は飼育率が高く、特に中部地方は金魚の飼育率が高い。

Q4. 現在自宅で飼育している観賞魚等があれば、選択してください。

(%)



()内は回答者数

:全体より1.5ポイント以上高い値 :全体より1.5ポイント以上低い値

2-3. 魚種別相関

飼育している魚種に相関関係があるかどうか(一緒に飼育している割合が高いかどうか)を確認したところ、次の組み合わせで飼育している割合が高かった。

- ・「金魚」と「メダカ・川魚」
- ・「金魚」と「鯉」
- ・「メダカ・川魚」と「甲殻類」
- ・「カメ」と「熱帯魚」

Q4. 現在自宅で飼育している観賞魚等があれば、選択してください。

	金魚	艃	メダカ・川魚	カメ	熱帯魚	甲殼類	両生類
金魚	1.000000					4 30	
鯉	0.239748	1.000000		0			
メダカ・川魚	0.242736	0.175695	1.000000				
カメ	0.177914	0.199398	0.166475	1.000000			
熱帯魚	0.171656	0.155181	0.148698	0.207792	1.000000		
甲殼類	0.159627	0.162724	0.222420	0.138976	0.185482	1.000000	
両生類	0.097337	0.135613	0.109241	0.126556	0.159145	0.175109	1.000000

相関係数とは・・・

2つのデータ群に関連性がある時(例えば、片方が大きいと,もう片方も大きくなるなど)、その2つのデータ群には相関がある。

相関の有無は2つのデータ群の相関係数をもとめて判断しする。相関係数は-1から+1の間の数値をとり、-1、+1の時は完全相関(順に逆相関,正相関)といい、2つのデータ群に強い関連性が存在する。一方、0の時は無相関といい、2つのデータ群に関連性がないと判断する。

出典: http://www1.tcue.ac.jp/home1/abek/htdocs/stat/corre.html

相関係数	相関の程度	
1.0≧ R ≧0.7	高い相関がある	
0.7≧ R ≧0.5	かなり高い相関がある	
0.5≧ R ≧0.4	中程度の相関がある	
0.4≧ R ≧0.3	ある程度の相関がある	
0.3≧ R ≧0.2	弱い相関がある	
0.2≧ R ≥0.0	ほとんど相関がない	
128		

3.飼育期間

- ・全体で見ると、1年未満の飼育者が25.6%存在。
- ・子どもの有無で見ると、「1年未満」で子ども無しの方が8ポイント強高く、「1年以上5年未満」で子ども有りが10ポイント強高い。
- ・魚種別に飼育期間を見ると、長い順にカメ→熱帯魚→金魚/メダカ・川魚となった。

Q5. 最も長期間飼育している観賞魚等の飼育期間を選択してください。

(%)

